

仙台市立病院医学雑誌投稿規程

平成30年11月12日
病院事業管理者決裁

1 投稿論文の条件等

(1) 条件

投稿論文は、医学、診療に関するもので、他誌に未発表のものに限る。内容はヘルシンキ宣言（人間を対象とする医学研究の倫理的原則）及び仙台市立病院「臨床における倫理に関する方針」を遵守したものとする。

(2) 種別

綜説、原著、症例報告、コメディカルリポート、その他（短報、症例検討会リスト、業績報告、CPC一覧、剖検記録等）とする。

2 個人情報保護

個人に関する情報の取扱いにあたっては、個人情報保護法等の個人情報保護に関する法令等を遵守するものとする。特に、症例報告や臨床研究においては、プライバシー保護の観点から個人が特定されないよう、氏名、生年月日はもとより実施日などの月日を明記せずに投稿するものとする。

なお、投稿論文におけるプライバシー保護の詳細については、病院事業管理者が別に定める指針によるものとする。

3 投稿資格

仙台市立病院職員及び登録医とする。ただし、仙台市立病院医学雑誌編集委員会（以下「委員会」という。）が認めた者については、この限りではない。

4 投稿方法

投稿は、電子媒体（電子メールの添付ファイルを含む。）及び印刷体により、利益相反自己申告書（様式1）、投稿申込書（様式2）を添えて委員会事務局に提出するものとする。

なお、投稿論文は事前に所属長の確認を受けるものとする。

5 投稿論文の取扱い

(1) 審査

投稿論文は、委員会の委員及び査読委員2名以上で査読し、委員会での審査により採否を決定する。

(2) 校正

投稿論文の初校は著者が原稿の控えを用いて行うものとし、二校以降は初校に基づいて委員会事務局が行うものとする。

(3) 掲載方法

論文は、PDF化し、当院ウェブサイト及びオンラインジャーナルに掲載するものとし、別刷りは行わないものとする。

(4) 著作権等

- ① 掲載論文の著作権は、仙台市立病院に帰属する。
- ② 掲載論文の引用により得られた許諾料は、仙台市立病院の収入とする。

6 原稿作成方法

(1) 形式、用語等

- ① 原稿作成には、Microsoft Wordを用いるものとする。
- ② 論文の長さは、図表を除き、総説については12,000字以内とし、それ以外の種別については8,000字とする。
- ③ 原稿に通しページを付すこと。
- ④ 平仮名、常用漢字を用い、現代仮名遣いに従うものとする。
ただし、固有名詞や一般に用いられている学術用語はこの限りではない。
- ⑤ 外国人名、適当な和訳のない薬品、器具、器械、疾患等の名称、学術的表現、科学用語などについては原語を用いて差し支えないものとする。ただし、固有名詞及び外国語名詞の頭文字は大文字とする。また、文中の外国人名、化学薬品名（薬品名は一般名を用いる。）は原語とするが、慣用（例：バセドウ病、ビタミン、ホルモン）のものは片仮名を使用して差し支えないものとする。
- ⑥ 医学用語の略語を用いる場合は、はじめに完全な用語を書き、それ以降は略語を用いることを明記する。
- ⑦ 度量衡は、国際単位系（SI）を用いるものとする。

(2) 構成

次に掲げる事項を順に記載し、④、⑤、⑥、⑦及び⑧に掲げる事項の前で改ページを行うものとする。

- ① 論文の種別及び題名
- ② 著者の所属及び氏名、
- ③ 索引用語（3語以内）

- ④ 和文要旨（400 字以内）
- ⑤ 本文
 - ア 「はじめに」又は緒言
 - イ 対象と方法（症例報告の場合は症例）
 - ウ 結果又は成績
 - エ 考察
 - オ 謝辞又は結語

⑥ COI（利益相反）の有無

⑦ 文献

⑧ 図表の説明

⑨ 図表

(3) COI（利益相反）の有無

本論文に関する利益相反状態の有無を本文の最後に明記すること。利益相反関係がある場合には、関係する企業・団体名も明記（「本研究は〇〇〇〇の資金提供を受けた。」「利益相反はない。」など）すること。なお、利害関係の有無は著者全員について様式1「仙台市立病院医学雑誌：利益相反（COI）自己申告書」を用いて報告すること。

(4) 文献

- ① 引用文献は、主要なものに限定するものとする。
- ② 引用文献がある場合は、本文の引用箇所の右肩に「¹⁾」のように上付き番号を付し、同じ箇所でも複数の文献を引用する場合は「^{1,2)}」，「¹⁻³⁾」のように表記するものとする。
- ③ 文献には、引用文献を引用順に並べて記載し、記載形式は、次のとおりする。

ア 雑誌から引用する場合

著者名（2名以上の場合は、筆頭者のみ記載し、「他」，「et al.」と付記する），表題，雑誌名（医学中央雑誌収載誌略名表，Index Medicusに従うこと。），掲載巻：掲載ページ（開始ページ-終了ページ），発行年（西暦）の順に記載するものとする。

例) 田中一郎 他：胃癌の病理. 日病会誌 89:121-135, 2000

例) Meinhof W et al. : Attempts to detect virus-specific DNA in human tumors. I. Nucleic acid hybridizations with complementary RNA of human wart virus. Int J Cancer13:650-656, 1974

イ 書籍から引用する場合

著者名，表題，書名（編集者又は著書名），出版社名，出版地名，

掲載ページ（開始ページ-終了ページ），発行年（西暦）の順に記載するものとする。

例) 坂本吾偉：良性上皮性腫瘍. 乳腺腫瘍病理アトラス（坂元吾偉著）
篠原出版，東京，pp. 9-19，1987

例) McDivitt RW et al. : Tumor of the Breast. Atlas of Tumor Pathology
(McDivitt RW ed.)，MTP Press, New York, pp. 103-128, 1989

ウ インターネットから引用する場合

著者名：表題，URL，参照年月日の順に記載するものとする。

例) 国立がん研究センターがん対策情報センター：がん情報サービス統計

<http://ganjoho.jp/professional/statistics/index.html>

平成 23 年 11 月 5 日参照

例) National Comprehensive Cancer Network : NCCN clinical
Practice Guidelines in Oncology : Thyroid Carcinoma Version
3. 2011

http://www.nccn.org/professionals/physician_gls/pdf/thyroid.pdf accessed on Nov 5, 2011

(5) 図表(写真を含む。)

- ① 図表の数は，綜説，原著については 10 点以内とし，それ以外の種別については 8 点以内とする。
- ② 解像度は，そのまま印刷できる程度に鮮明，明瞭なものとする。
- ③ 電子データのファイル形式は，JPEG(推奨)，TIFF，PDF，Microsoft PowerPoint，Microsoft Excel，Microsoft Word とする。
- ④ 「図 1」，「表 1」などのようにそれぞれ番号をつけ，各々のタイトルと簡潔な説明文を付記するものとする。なお，他書から引用する場合には必ず出典を明らかにするものとする。
- ⑤ 倍率又はスケールの表示は，光頭写真（組織像，細胞像）については不要とし，電頭写真については必須とする。
- ⑥ 図表は，別紙を用いるものとし，本文中に挿入すべき位置を明記する。
- ⑦ 図表の説明は，別紙を用いるものとし，番号順に各々のタイトルと簡潔な説明文を記載するものとする。

附則

(適用期日)

- 1 この規程は，平成 30 年 11 月 12 日から適用する。

(仙台市立病院医学雑誌投稿規程の廃止)

- 2 仙台市立病院医学雑誌投稿規程（平成 28 年 3 月 1 日病院事業管理者決裁）は、廃止する。

附則（令和元年 11 月 5 日改正）

（適用期日）

この改正は、令和元年 11 月 5 日から適用する。

附則（令和 4 年 2 月 18 日改正）

（適用期日）

この改正は、令和 4 年 2 月 18 日から適用する。

附則（令和 4 年 12 月 19 日改正）

（適用期日）

この改正は、令和 4 年 12 月 19 日から適用する。